

# ヒツジのかんさつシート

こ どうぶつえん なか き い とう かんさつ  
子ども動物園にいるヒツジの中からお気に入りの1頭を観察しよう！

## 行動をかんさつ！

どんな姿勢？

( ) 立ってる ( ) すわっている

何をしている？

( ) 工サを食べている ( ) うんちした  
( ) 口を動かしている ( ) おしっこした  
( ) 歩いている ( ) 走っている  
( ) 寝ている  
( ) その他 [ ]

## 毛をかんさつ！

さわってみよう！ [ ]  
どんな感じ？

よく見てみよう！  
どんな毛?  
○をしよう  
まつすぐな毛 細い毛 ちぢれた毛 太い毛

## 発見したこと



## 私が観察した ヒツジの名前

## 肢をかんさつ！

ヒツジの肢に○をしよう



## うんちをかんさつ！

うんちをスケッチしてみよう

## 同じあしの動物を探そう！

おな ↓同じあしの動物に○をつけよう

- ( ) ヤギ
- ( ) 口バ
- ( ) ウシ
- ( ) ウマ
- ( ) プレーリードッグ
- ( ) チンパンジー
- ( ) カリフォルニアアシカ
- ( ) バク
- ( ) キリン
- ( ) ゾウ

け やく た かんが  
ヒツジの毛はどんなことに役に立っているのか考えてみよう！

学校名

なまえ  
名前

# 先生用 ヒツジのかんさつシートと解説

ワークシートの ヒツジの行動や体の特徴を観察することを通して、ヒツジへの興味・関心を引き出すと共に、人とのかかわりを考えるきっかけとする。

## ヒツジ 偶蹄目ウシ科

- ・偶蹄（ウシ）目であり、特徴として2つに割れた蹄で、中指と薬指にあたる。  
→奇蹄（ウマ）目は蹄は割れておらず、中指がそれにあたる。

- ・胃が4つある反すう動物

消化しにくい纖維質の多い青草などを食べるため、一度食べた草を胃から口に戻してかみくだき、また胃に返して、胃の中にすむ微生物が草を分解することで草の栄養を吸収して、消化しています。

- ・角があるもの、ないものがいる

飼育しやすいように、角のない品種に改良されてきましたが、角のある品種もいる。

- ・尾は生まれてすぐに断尾

生まれたばかりの仔ヒツジには長い尾があります。そのままにしておくと、尾の周りに糞がつき、不衛生なため、小さいうちに切り（断尾し）ます。

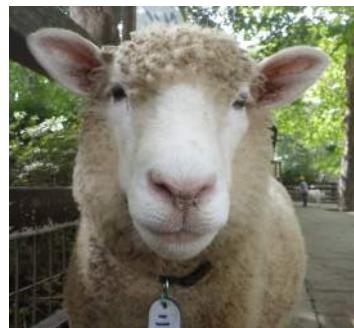


ワークシートの  
ヒツジと同じ蹄の動物は、  
ヤギ、ウシ、キリンが正解。

## ■ 子ども動物園のヒツジ

子ども動物園で飼育しているヒツジは「コリデール」という種類のヒツジで、角がなく、毛や肉を利用する日本のヒツジの代表品種です。昔の日本では、よく飼育され、毛を紡いで家族の衣類を作っていた農家もありました。

子ども動物園のヒツジを見比べると、顔や性格など人間と同じように1頭1頭異なるのがよくわかります。



## ■ ヒツジは家畜です！

ヒツジの祖先は野生のムフロンなどでしたが、より良質な毛や肉を求めて、人間がムフロンなどを飼っていくうちに、品種改良を繰り返して、たくさんの品種が誕生しました。こうした人間が飼いならしたり、品種改良して利用する動物を家畜といいます。家畜は私たちの生活にかかせない動物であり、人間と関わりあって生きている動物です。

## ■ ヒツジの毛

ヒツジの毛は、よく見ると縮れた細い毛で、人間が刈らない限り、のび続けます（ヒツジの原種であるムフロンなどは毛の生え変わり（換毛）の時期があり、自然と抜け落ちます）。人間は毛を利用するため、夏前になると毛刈りを行います。子ども動物園のヒツジは、5月末になると毛刈りを行います。

ヒツジの毛には、断熱効果があり、夏の暑い時期でもヒツジの皮ふは毛に守られて逆に涼しく、冬は寒さから身を守る役割があります。ヒツジの毛をさわると、すこしふたふたした感触があります。これは、ヒツジが体から分泌している「ラノリン」という油分によるものです。これは、ヒツジの皮ふの保湿と保温に役立っています。このラノリンも精製して、化粧品や軟膏に利用されています。

## ■ 捨てるところがない！と言われるほど役立っているヒツジ

人間にとってヒツジは人類最古の家畜であり、全身利用できる動物です。

私たちの暮らしの中でヒツジ製品に触れる機会はたくさんあります。

羊毛：毛糸やフェルトになり、セーターなどになっている

皮：ムートン、ラムスキン、シープスキンとして洋服になっている

羊皮紙：紙が作られる前は、ヒツジの皮が紙の代わりでした

羊肉：ラム肉、マトン、ジンギスカンなど

羊乳：ヨーグルトやチーズに加工されて食べることが多い

ラノリン：化粧品や軟膏に利用されている

うんち：肥料として活用されている

自分の暮らしをふりかえり、  
どんなヒツジ製品を利用して  
いるか、考えてみましょう。

## \* 飼育員のコラム 『うんちのひみつ』\*

うんちは、健康のバロメーターです。そのため、毎朝必ずうんちを観察して、健康状態をチェックしています。また、うんちを観察すると、何を食べたのかがわかります。ヒツジのうんちは、つぶすと、パラバラになり、水分も臭いもほとんどなく、纖維がいっぱいあることがわかります。纖維質な草を食べているのです。子ども動物園のヒツジには、青草や干し草を与えていました。

なぜ、こんなに臭いもなく、コロコロしたうんちなのでしょう。これには理由があります。どちらも敵から身を守るためにあります。うんちが臭かったら、敵に見つかりやすくなりますし、人間みたいに力んでうんちをしてたら、敵に襲われてしまします。ということで、パラパラっと歩きながらでもできて、いつでも逃げられるようにしているのです。